

Rising Moon



ゆさゆさと 大枝ゆるる 桜かな

作 村上 鬼城

春光うらかな中、桜の開花を迎えた今日この頃、保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今日は令和7年度の最終日、修了式でした。保護者の皆様は、お子様の1年間の成長を実感しておられることと思います。一方、中学生の時期はいわゆる“思春期”、そして、“反抗期”。成長を頼もしく思う反面、子育ての難しさを痛感している方もおられることでしょう。本日ここに、教育相談だより「Rising Moon」最終号を発行しました。一年間お読みいただきありがとうございます。

自然の移り変わりを楽しむ春休みに



昨年度の最終号にも掲載したこの話題です。9年生が卒業してから2週間余り、卒業式がずっと昔のように思えます。そして、今日は在校生にとっては今年度最後の日でした。時の流れの速さを感じますね。先ほどの修了式で歌った校歌、我が母校の校歌を誇らしげに大きな声で歌えたでしょうか？修了証を見て、何か感じたものがあつたでしょうか？

今、こうして皆さんの制服姿を見ていると、7年生は入学式の日の姿と違って体にピッタリと合って似合っています。また、8年生は少し窮屈な制服になっている人もいることでしょう。それだけ、この一年間に体の成長があつたのです。それと同じように、皆さんの知識は増え、知恵はつき、心も大きく・強くなりました。

明日からの春休みは14日間あります。桜の季節を迎えましたが、桜の花だけでなく、山の色の移り変わり、日ごとに輝きを増していく川面、飛び交う野鳥の種類の変化など、自然の移り変わりを楽しむ春休みにしてください。ぜひ、美しい自然を求めて出かけてみてください。新たな発見があるかもしれませんよ。そして、新しい出会いがあるかも……。

では、豊かになった心と強さを増した心で、また4月8日に会いましょう。



ステップアップルーム (SUR)



年度当初にご案内した本校のステップアップルーム(以下、SUR)について、今年度の状況をお知らせします。SURは、在籍する学級での学習や集団での生活が困難となった生徒の支援を行う特別な教室に、専属の教員(サポート教員)を配置し、個別の支援を行う国の不登校対策事業(COCOLOプラン: 誰一人取り残されない学びの保証に向けた不登校対策)です。今年度もサポート教員は教育相談担当を兼ね、配置校における不登校の未然防止に取り組み、不登校生徒数の減少をめざしました。結果、今年度は、不登校生徒数(欠席30日以上)が昨年度と比べて大幅に減少しました。(−9名の見込み)なお、SUR通室生はすべて不登校というわけではなく、欠席が体調不良などによる生徒も、欠席日数が30日に満たない生徒もいました。

今年度は、本校のSURには最大8名の生徒が登録し、一日平均3~4名の生徒が通室していました。8年生は十分な通室ができなかったのですが、9年生4名は希望の進路の実現に向けて本当によく頑張りました。長期休業中(夏・冬)や受験が近づいた1~3月の土曜日の学習会にも参加し、受験勉強に励んだ生徒がいました。そして、その努力が実り、全員、第一志望校に合格しました。また、通室生の中には、特定の教科の授業に参加したり、学年・学校行事などにも参加したり、昼休みなどで友人と話したりして級友とのつながりができた生徒もいました。

来年度も本校にはSURが設置されますので、学級での学習や集団での生活困難になった場合は、ぜひこのSURを利用してください。なお、SURに通室した場合は、「出席」です。

SCの活用状況報告

今年度のスクールカウンセラーの活用状況結果をお知らせします。今年度は、東小・中学校の垣根を払い、終日どこでも相談ができるようにしました。結果、保護者や児童生徒からの相談件数が増え、勤務時間を有効に活用できたものと思われま

- 勤務日数 … 32日
- 総時間数 … 107時間
- 相談件数 … 73件
- 実相談件数 … 56件

【内訳】

- 生徒 … 23件
- 保護者 … 5件
- 教員 … 26件
- その他 … 2件



その他、「GHP事業」や「高校0年生からの教育相談事業」、「校内いじめ対策委員会」などでお世話になりました。



ひととせの 想いを開く 桜かな 作者 不詳

桜の開花に合わせて、桜の話題です。

日本では桜を特別に楽しむ風習があります。テレビやネットでは連日、「〇〇市で開花した」など、桜の便りが届きます。桜の花は二週間くらいで散ってしまうからでしょうか。それともその美しさによるのでしょうか。

桜は、二分咲き・五分咲き・満開と、その時々を楽しむことができます。

ところで、その桜はあまりに二週間が華やかなせいか、他の季節にはほとんど顧みられせん。今度、少し気にしてみませんか。

夏、秋、冬と桜の木は、次の春に、より美しく咲くために、ひそやかな精一杯の努力をしているようです。私たちはどういう一年を過ごしてきて、これからどういう一年を作り上げようとしているのでしょうか。

私たちはいつ、どのように咲くのかわかりませんが、必ずその時が来るでしょう。一日一日を大切にしていきたいものです。



最終号でも、素敵な言葉を一気に5つ紹介します。一生心に留めておきたい言葉ですね。

人生で大事な『あいうえお』②

- 1 『あ』 「愛」 するから愛される
- 2 『い』 「命」 一度きりの人生を大切に
- 3 『う』 「運」 は自分で引き寄せるもの
- 4 『え』 「縁」 出会いに感謝する
- 5 『お』 「恩」 受けた恩は忘れずに返す

人生で大事な『かきくけこ』

- 1 『か』 「感謝」 すれば豊かになる
- 2 『き』 「希望」 を持ち続ける
- 3 『く』 「苦勞」 も成長の糧になる
- 4 『け』 「健康」こそ最大の財産
- 5 『こ』 「言葉」 は心を映す鏡

人生で覚えておきたい数字

- 1 記憶は一日で7割忘れる
- 2 大人になって勉強する人は3割
- 3 人の直感は9割当たる
- 4 どんな人でも2割の人には嫌われる
- 5 心配事の9割は起こらない
- 6 マルチタスクで生産性が4割ダウン
- 7 行動は1ヶ月で習慣化される
- 8 6分の読書で7割のストレスが解消される

心が軽くなる言葉

- 1 「疲れた」は頑張った証拠
- 2 「緊張」するのは本気な証拠
- 3 「頑張る」と「無理する」を一緒にしないこと
- 4 「～しなきゃ」と背負い過ぎないこと
- 5 人に優しいのなら、自分にも優しくすること
- 6 自然と笑えるくらいゆっくり休むこと
- 7 今がすべてじゃない
- 8 失敗しても勉強になったらそれは成功

忘れてほしくない心に沁みる言葉

- 1 後悔は「過去」を変えたいという気持ち。反省は「未来」を変えるための行動。
- 2 「明日」から頑張るのではなく、「今日」だけを頑張る。それを毎日やれば良い。
- 3 過去を自慢するのは「進歩」が止まった証拠
- 4 「一度きりの人生」だから好きに生きれば良い。でも、あなたの周りも「一度きりの人生」。
- 5 全てがうまくいく訳ではない。気持ち次第で運命は変わる。
- 6 他人のようによくやろうと思わないで、自分らしく失敗しなさい。
- 7 誰にでもできることを、誰にでもできないくらいに頑張れば良い。

今年度最後の記事は、7年生・8年生のお子様をもつ保護者の皆様に、2週間後に迫った「進級」という次のステップのに向けた情報をお知らせします。ご家庭で話題にしてください。

～ 7年生の保護者の皆様へ ～

7年生のまとめと8年生への準備



ついこの間入学したわが子が、もうすぐ8年生になるという、親としての感慨はわかるような気がします。この一年間、わが子は中学生としてどう過ごしてきたのでしょうか。健康で安全な生活が送れたでしょうか。勉強や部活動、学校行事などへ積極的に参加し、満足できるものだったでしょうか。基本的な生活習慣（あいさつ・掃除・授業集中・言葉遣い・ルールを守るなど）は身に付いているでしょうか。

これからの中学校生活をさらによりよいものにしていくために、子どもにこの一年間を振り返らせ、気持ちを新たに8年生を迎えることが大切です。

そこで、次のような点について子どもに一年間をチェックさせてみてください。

- (1) 中学校に入学したときの抱負は実行できたか。 [A B C D E]
- (2) この一年間、よい友だちをつくることができ、充実した生活を送ることができたか。 [A B C D E]
- (3) 授業中、積極的に学習に参加し、ほとんどの教科が理解できるようになったか。 [A B C D E]
- (4) 部活動や学校行事などに積極的に参加することができたか。 [A B C D E]
- (5) 将来の希望をしっかりとち、自分の特色を理解し、進路の計画を立てることができたか。 [A B C D E]

また、8年生への準備としては、中学校での中堅学年であるという自覚をもたせることを心がけさせることが大切です。4月に入学してくる後輩の「よき手本」となってほしいのです。

～ 8年生の保護者の皆様へ ～

8年生のまとめと9年生への準備



お子様は、本日、中学8年生を修了しました。この時期に今までの一年間の反省と9年生への心構えをさせておくことは、子どもにとっては非常に大切なことです。来年は、親として最も子どもの行動に一喜一憂する年となるはずですが、そのときにあわてないためにも、今、この「まとめと準備」が必要なのです。9年生という学年は、中学校の学習の総仕上げの年であるとともに、義務教育終了の年でもあります。また、進路に関しては、進路先を選択しなければならない、人生にとっても重要な年でもあります。小中一貫教育における“ゴールの姿”に到達してほしいと思います。

そこで、次のような点に留意して子どもとともに考えてほしいと思います。

【今年一年の反省】

- (1) 一年間の学習について反省させる。(授業態度・家庭学習)
- (2) 学校での生活態度を反省させる。(きまり、遅刻、諸活動への取組)
- (3) 学校での諸活動への参加を反省させる。(生徒会・係・当番活動、儀式・体育祭・文化祭などの行事への取組)
- (4) 進路について反省させる。(働くことや学ぶことの意義の理解、働くことの目的や意義の理解、学ぶための制度や機会の理解、自分の適性や特性のまとめ、進路計画の再検討)



【9年生への準備と心構え】

- (1) 中学校での最高学年として後輩を指導していかなければならないこと!
- (2) 卒業学年として、学習の総まとめをしなければならぬこと!
- (3) 進路を選択し、決定しなければならぬこと!

* 8年生は、「上級学校を知る」と題して、進路学習を行いました。この学習を通して、来年受験するであろう高等学校についての情報を得てほしいと思います。目標をもつことは、早ければ早いほどよいです。

